

また、事業開始以来、経験を積んできたスタッフにより事業内容・運営方法が継承されているため、それらを活用できる人材育成や組織運営を進めています。

今回、ひきこもりやニートなど困難を抱える若者の支援の評価や経過記録を行うための指針として当法人で独自に活用している「状況改善の評価基準」について組織内で議論を行い、見直しを行いました。見直しを行った内容は資料5のとおりです。

資料5 ひきこもり状態の状況改善の評価基準

レベル	状態
15段階	月に数回、家から出て買い物などには行くが、それ以外の行動はしない。家族との会話・意思疎通はできる。
14段階	月に数回、家から出て買い物などには行くが、それ以外の行動はしない。家族との会話・意思疎通は無い。
13段階	月に1回程度、家から出て買い物に行く。家族との会話・意思疎通はある。
12段階	月に1回程度、家から出て買い物に行く。家族との会話・意思疎通は無い。
11段階	家から屋外に出ることはあり、食事や入浴などの基本的な自己管理ができるが、敷地外へは出ない。家族との会話・意思疎通はある。
10段階	家から屋外に出ることはあるが、食事や入浴などの基本的な自己管理が困難であり、敷地外へは出ない。家族との会話・意思疎通はある。
9段階	家から屋外に出ることはあり、食事や入浴などの基本的な自己管理ができるが、敷地外へは出ない。家族との会話・意思疎通は無い。
8段階	家から屋外に出ることはあるが、食事や入浴などの基本的な自己管理が困難であり、敷地外へは出ない。家族との会話・意思疎通は無い。
7段階	食事や入浴などの基本的な自己管理ができるが、家から屋外に出ない。家族との会話・意思疎通はある。
6段階	食事や入浴などの基本的な自己管理が困難であり、家から屋外に出ない。家族との会話・意思疎通はある。
5段階	食事や入浴などの基本的な自己管理ができるが、家から屋外に出ない。家族との会話・意思疎通は無い。
4段階	食事や入浴などの基本的な自己管理が困難であり、家から屋外に出ない。家族との会話・意思疎通は無い。
3段階	食事や入浴などの基本的な自己管理ができるが、部屋の外にほとんど出ない（家族に目につかないように出る）。
2段階	食事や入浴などの基本的な自己管理が困難であり、部屋の外にほとんど出ない（家族に目につかないように出る）。
1段階	食事や入浴などの基本的な自己管理ができるが、自室から出ることができない。
0段階	食事や入浴などの基本的な自己管理が困難であり、自室から出ることができない。